

日本の農業競争力強化への貢献

ジェイカムアグリ株式会社

代表取締役社長 吉 川 哲 也



新年あけましておめでとうございます。

平成30年の年頭に当たり、本誌「農業と科学」をご愛顧いただいております皆様へ一言ご挨拶申し上げます。

平成21年10月にチッソ旭肥料（株）と三菱化学アグリ（株）が合併した弊社は本年10月に10年目の節目を迎えます。これもひとえに皆様方のご指導・ご支援の賜物と改めまして厚く御礼申し上げます。

私は昨年6月26日付けでジェイカムアグリ株式会社代表取締役社長に就任いたしました。今後ともよろしく願いいたします。

就任後はご挨拶等で全国を回らせていただき、いろいろなお話を伺う中で農業に従事されている方の高齢化や、後継者問題による離農など農業人口の減少により、耕作放棄地が拡大し、しいては食料自給率にも影響するという構造的な問題を抱えているとのことをお聞きし、食料問題もさることながら日本人にとってかけがえのない美しい田園風景や里山の風景が消えていくことはたいへん寂しく、残念な思いがいたします。

その一方で集落営農や法人経営体など積極的に農業経営の在り方を変えられた地域やITやロボットを使った超省力型の全く新しいスマート農業への取り組みも始まっており、今後は魅力ある農業経営で手取り収入も増え、後継者不足の解消や新しい農業が増えることは資材を提供させていただく側にとってもたいへん歓迎すべきことです。

一昨年の農業競争力強化プログラムに続いて、昨年は通常国会で農業が将来にわたって持続的に発展していくための農業の競争力強化の取り組みを支援することを目的とした農業競争力強化支援法が成立しました。我々肥料メーカーといたしましては従来から生産設備の統廃合や事業再編などコストの削減に取り組んでまいりましたが、今後ともさらに良質でコストパフォーマンスの高い肥料をご提供し、少しでも日本の農業競争力強化に貢献できるよう努力してまいりたいと思います。

最後になりますが本年も本誌「農業と科学」のご愛読を引き続きお願い申し上げますとともに皆様方のご多幸とご繁栄をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。